

# 令和4年度幼児期からの運動習慣アップ支援事業地域専門人材養成研修のカリキュラムについて

令和4年4月1日  
公益財団法人新潟県スポーツ協会  
【受講者募集用】

## 1 地域専門人材養成研修による養成する人物像について

市町村や保育園・幼稚園等と連携・協力し、幼児期における「運動遊び」の普及啓発や保育者等への支援を行う地域の中核となる専門人材については、日本スポーツ協会の「モデル・コア・カリキュラム」によるグッドコーチに求められる『人間力』『知識・技能』の資質能力を備え、コミュニケーション能力を発揮して現場で持続的に活躍できる人物が望ましい。

## 2 受講資格について

受講申し込み時点において以下①～⑦のいずれか一つを満たしていること。

- ① 3年以上又は30回以上の幼児期の運動遊びに関する指導実績がある者
- ② 本事業のモデル研修会・普及啓発セミナーにそれぞれ2回以上参加している者
- ③ スポーツ・運動指導（マネジメント指導者資格を除く）に関する資格を有する者  
（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格、日本レクリエーション協会公認指導者資格等）
- ④ 学校教育に関する資格を有する者（幼稚園教諭、小・中学校及び高等学校教員免許）
- ⑤ 体育・スポーツ系大学又は体育・スポーツ専修学校（2年制）若しくはこれと同等以上の学校の卒業者
- ⑥ 保育士資格を保有している者
- ⑦ 新潟県及び公益財団法人新潟県スポーツ協会が特に認めた者

## 3 募集人数について

10人程度（予定）

## 4 受講形態等について

- (1) 集合形式又はオンライン形式による。
- (2) 講師の指示により講義前後にリアクションペーパー（レポート）等を提出する。
- (3) モデル研修会・普及啓発セミナーは、実習として位置付ける。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から受講者を複数グループに分け、研修を実施する場合がある。

## 5 シラバス（※新型コロナウイルス感染症の影響により講義内容等が変更になる場合がある。）

（順不同）

担当講師	青野 光子 教授 新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科長	周東 和好 教授 上越教育大学大学院学校教育研究科 芸術・体育教育学系	佐近 慎平 准教授 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科
カテゴリー	教育	体育	発育・発達
講義名	5領域（保育内容）の視点と幼児期の運動遊び	初等体育科指導法	幼児期の課題解決志向型運動遊び指導演習
単位数及び時間（A）	2（3時間）	2（5.5時間）	2（4時間）
	合計：6単位（12.5時間）		
講義目的	<p>幼児期の運動遊びについて、5領域（保育内容）より総合的に捉える視点を学ぶ。幼稚園教育要領や保育所保育指針のねらいと内容を中心に、保育の基本・5領域の捉え方を理解し、保育の中の運動遊びとして、総合的に指導する指導方法・指導法について学ぶ。</p> <p>また、幼児期の健康課題と運動遊びの意義について理解を深め、「幼児期運動指針2012」のポイントについて、改めて確認をし、保育現場の運動指導で活用する指導法について学ぶ。</p>	<p>小学校学習指導要領ならびに解説に示された各学年の教育目標及び各運動領域の内容を学習し、幼児期の運動が小学校の体育にどのように繋がっていくかを理解する。その他に小学校体育で行われる鉄棒やマット運動等の指導方法について学ぶ。</p> <p>また、「保育現場における『運動遊び』の取組に関する実態調査」では、回答結果から年長児が姿勢に関する課題を抱えており、保育者は、幼児の正しい姿勢について高い意識が伺えたことから、上記講義の中で姿勢に関する知識についても学習することとする。</p>	<p>乳児期、幼児期、児童期を中心に、その発達の特性を踏まえ、保育現場が抱える発達課題を解決するために、受講者が課題解決志向型の「運動遊び」を作成し、実技演習を受けて、保育・教育を行うに当たって留意すべき点について学ぶ。</p> <p>・事前学習課題 「保育者の抱える課題」解決案の作成 参考資料：保育現場における「運動遊び」の取組に関する実態調査実施報告書（概要版） ・実技演習 「保育者の抱える課題」解決案の演習</p>
モデル研修会等（B）	【モデル研修会 1単位（2時間）】【普及啓発セミナー 1単位（3時間）】		
単位合計（時間数）	8単位：17.5時間（A+B）		